



# 西堀小だより

7月号 令和6年7月19日発行

児童数 349名

新座市西堀 2-18-3

TEL 042 (491) 6671

FAX 042 (495) 8848

【校訓】 禮儀（れいぎ） 質朴（しつぱく） 自治（じち）  
【教育目標】 やさしく かしこく たくましく



## 1学期を終了して



教頭 萩原 智子

7月18日に関東の梅雨明けが宣言されました。いよいよ本格的な夏の到来です。本日、西堀小学校も無事令和6年度の1学期を終了することができました。これもすべて保護者、地域、応援団のみなさまのおかげと感謝申し上げます。

はるかフランス、パリではオリンピックが開催されます。前回の東京大会が1年延期したためか、もう開催の年になったと時がたつ早さを実感しております。メダルに固執することなくこれまでの努力が報われることを祈ります。

さて、子供たちは明日からの夏休みはどのような、に過ごすのでしょうか。特別なイベントがなくとも有意義に過ごすことは可能です。私は、思い切り体を休め、大好きな読書に講じようと今から楽しみです。また、今年は「教頭先生問題」と称して、職員室前の廊下にコーナーを設けました。身近な生活から疑問を持たせ、知的好奇心を高めてほしいことがねらいです。お子様が興味をもたれたら、そのことを深く追求し、自身の糧となるよう、ご協力をお願いしたいと思います。

そして始業式にきらきらした笑顔に会えることを楽しみにしております。

### 【非行防止教室を実施しました】

7月12日に、4・5・6年生を対象に非行防止教室を実施しました。当日は新座警察署から少年補導員の方をお招きしてお話をいただきました。スマートフォンの使い方の一環として、SNSを利用する際に注意することを中心にペープサート（紙人形劇）を活用して分かりやすく教えていただきました。『ネット上で知り合った女の子が実は大人の男性であった』といった例を挙げ、安易に相手を信用して自分の写真など、個人情報を送ってはいけないということを学びました。

また、悪い人に連れ去られそうになった時の対処法をDVDを視聴して、改めて認識を強めることができました。最後に、実際に大型商業施設で起こった恐喝の事例を校長先生が、小野寺純也先生、山迫武瑠先生とともにロールプレー（役割演技）で披露していただきました。あたかも友達かのように声を掛けられ、人気のないところに連れていかれてしまうという内容でした。

スマホやインターネットは子供の可能性を広げるツールであると同時に脅威でもあります。夏休みにぜひSNSについてご家庭でも話題にいただければ幸いです。



### 【「命を守る泳ぎ（着衣水泳）」を行いました】

今年度も水泳の学習が無事終了しました。どの学年ブロックも8時間以上プールに入ることができました。7月16日には6年生を対象とした『着衣水泳』を実施しました。『着衣水泳』とは、日常的に身につけている衣服を着たまま、水の中で泳ぐ体験的な学習です。水泳学習の究極の目標は、水の事故にあった場合、自分の命をどう守るかにあります。川や海での事故で亡くなる子どもの報道が毎年のようにあります。水に落ちたときにどう対処したらよいか体験しておくことは、自分の命を守るという意味で大変重要なことです。

夏休みのキャンプなどで小学生が川で流される事故を契機に、1980年頃から水泳の授業に着衣状態の水泳を取り入れる学校が増え、内容を改良しながら実施されてきました。水辺の事故は、いつ、どこで出くわすかわかりません。そのとき、水着を着ているとも限りません。普段泳げる人も服をつけたままでは思うように泳げないものです。その違いを理解して、自分で自分を助ける方法、それが『着衣水泳』です。

『着衣水泳』の指導は、河川や湖などでの落水、あるいは船の遭難の際に用いる護身術の習得を目指し、①泳いで岸までたどり着くか、②浮くことで救助隊が到着するまで生き延びる技術の習得を目的としています。6年生の子供たちは、服を着たまま浮いたり、泳いだり、またペットボトルを利用してどれだけ楽に浮くことができるかなどを実際に体験しました。

